会計事務所レポート

所長（ボス）に聞く 我が事務所（ウチ）の特徴と強味

特別企画　聞き手：太田 亮児（オオタキカク代表）

荒木関克己税理士事務所　代表税理士 荒木関（あらきぜき） 克己（かつみ）氏

――― 経営者の本音を引き出し、未来を一緒に描く

近年、税理士事務所が顧問先に対する経営支援やコンサルティングを強化する動きが広がっている。札幌市を拠点とする荒木関克己税理士事務所の代表税理士、荒木関克己氏も顧問先の経営支援に重点的に取り組む一人だ。オオタキカクの太田亮児氏が聞き手となり、荒木関氏に仕事の原点と現在を聞いた。

経営者だった父の背中

太田：先生のお父様は建築塗装業を営まれていたそうですね。

荒木関：多いときには20人弱の職人がいて、若い職人を住み込みで雇い、夜間高校にも通わせていました。父は朝から晩まで働くひとで、北海道旭川市ではそれなりの規模で事業をしていました。自宅が会社の事務所も兼ねていて、住み込みの職人さんたちと一緒に生活していた時期もありました。子どもの頃の私にとって、父の会社や職人さんたちは生活の一部でした。

当時は詳しい事情までは分かっていませんでしたが、家ではお金のことで苦労していた時期もあったようです。それを知ったのは大人になってからで、父が遠方の親戚を訪ね、お金を借りていたことがあったと知りました。多くの職人を抱えて事業を続けることの大変さや、経営者が表には出さない苦労を、知らず知らずのうちに身近で見て感じていたのだと思います。今でも建築関係の経営者や職人さんと自然に話せるのは、そうした環境で育ったことが大きいですね。





「この人の力になりたい」と思った原点

太田：勤務時代を振り返って、今の仕事観につながっている出来事はありますか。

荒木関：新人の頃は、訪問しても社長に会えなかったり、話を聞いてもらえなかったりして、それで悔しい思いをしました。そこで、会社の変化やご家族のことまで覚えて、「あなたの会社をちゃんと見ています」ということを伝えるようにしました。

そんななか、経験の浅い私にも毎回時間を取ってくれる社長がいました。話を重ねるうちに、それまで会計事務所に十分話を聞いてもらえず、困りごとを抱えていたことを知りました。そのとき、「このひとの力になりたい」と強く思ったのです。相手の話を聞き、困っていることを一緒に考える。今の仕事の原点は、そこにあると思います。

「自分で全部やる」からひとの力を借りる仕事へ

太田：仕事への向き合い方は変わりましたか。

荒木関：昔は何でも自分で解決しようとして、経営者にも強く意見していました。でも56歳になり、一人ですべてをやるのは無理だと分かってきました。今はまず本音を聞き、自分でできなければ周りの力を借りるようになりました。

決算にAIを活用「未来を考える時間」に

太田：現在、経営支援ではどんなことに力を入れていますか。

荒木関：今は決算報告です。過去の数字を説明するだけでなく、AIも活用し、その会社の状況や社長の考えを反映した決算報告書をつくろうとしています。「来年はどうしたいか」をイメージし、目標やKPI（重要業績評価指標）まで考えるきっかけにしたいためです。AIで担当者の経験差を補い、職員でも一歩踏み込んだ支援をできるようにしたいと考えています。

太田：支援するうえで、一番大切にしていることは。

荒木関：「会ったひとが笑ってくれること」です。本音を聞き、一緒にこれからを考え、経営者が前向きになって次の一歩を踏み出せる。AIも周りの力も、そのために使うことができればと思っています。

太田の「結び」

太田：荒木関先生の話を聞いて感じたのは、税理士の仕事は、数字を正しく伝えるだけではないということです。経営者の話をよく聞き、何を考え、これからどうしたいのかを一緒に考えていく。必要であれば、ひとやAIの力も借りる。そうして経営者が少し前向きになり、次の一歩を踏み出せるように支えることも、これからの税理士に求められる役割の一つなのだと思います。

【聞き手：太田亮児】税理士・会計事務所の営業支援コンサルタント。営業の仕組みづくりやホームページ制作を通じて全国120超の事務所をサポート。『税理士・会計事務所の儲かるしかけ』（同文館出版刊）など著書多数。

事務所データ

■事務所沿革

2006年12月
札幌市北区で荒木関克己税理士事務所が開業

■事務所の特徴

「企業を成長・継続させるための生きる『道しるべ』になる」を経営理念に、税務申告だけでなく、経営者が数字をもとに会社の現状を把握し、将来の方向性を考えるための支援を重視。月次の数字を分かりやすく整理・可視化し、経営者が目指す姿と現状とのギャップを確認しながら、経営改善や資金繰り、金融機関対応など、経営全般を継続的にサポートしている。開業当初から事業承継やM&A、相続などにも携わり、現在は法人顧問を中心に、北海道の中小企業への経営伴走支援を展開している。

■得意分野

法人顧問・中小企業の経営伴走支援、月次数字の見える化、経営改善・経営計画支援、資金繰り・金融機関対応・投資判断などの財務支援、事業承継・M&A、相続・相続税業務

■所属税理士会

北海道税理士会

パーソナルデータ

■出身地／北海道旭川市

■略歴

小樽商科大学商学部を卒業。札幌市の会計事務所２カ所で計９年の実務経験を積み、2006年１月に税理士登録。同年12月、札幌市北区で荒木関克己税理士事務所を開業し、代表税理士に就任。現在は法人顧問を中心に経営支援を行う。

事務所所在地

■荒木関克己税理士事務所

〒001-0011 北海道札幌市北区北11条西2-2-17 セントラル札幌北ビル4F
TEL：011-788-3084
FAX：011-788-3095